

平成25年度 事業別予算概要

事業名 61100 番 号	物産宣伝推進事業費			予 算 内 線 2213	会計 1 一般会計	総 合 計 画	政策 4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画 高山市産業振興計画	市 長 公 約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます ・世界に誇れる技術やデザイン性を有した地場産業を、売り上手な産業に育てるためマーケティングの強化支援やモノづくりの芽を支援し、市長が先頭に立った積極的なセールスを行ないます
	款 6 商工費	分野 6 工業	実施計画事業 飛騨高山展開催事業							
	項 1 商工費	基本施策 1 時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額 6,000 千円							
	目 1 商工振興費	施策 1 経営体質の強化								
担当課 商工観光部 商工課										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市産業振興協会	どうしたいのか (意図)	・高山市産業振興協会が実施する飛騨高山展の開催を支援することにより、市内の特産品の販路拡大を図るとともに、市内工業の振興を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・飛騨高山展補助金等の交付
	対象者数	1 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・松本井上百貨店において飛騨高山展開催(平成23年5月) ・高島屋横浜店において飛騨高山展開催(平成23年7月) ・名古屋松坂屋において飛騨高山展開催(平成23年7月) ・そごう神戸店において飛騨高山展開催(平成24年3月) ・物産宣伝DVD作成(2ヶ国語対応) 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	飛騨高山展の開催回数	回	目標値	4	4	5	5
	算出根拠等	4回開催/年	実績値	2	4		
活動指標	飛騨高山展への出店者数	店舗	目標値	160	160	160	160
	算出根拠等	160店舗/4催事	実績値	86	192		
成果指標	飛騨高山展における売上(高山市分)	千円	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000
	算出根拠等	120000千円/4催事	実績値	64,176	112,081		
成果指標	観光客が高山を知った媒体に占める割合	%	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等	観光統計のアンケート集計結果	実績値	2.33	1.85		
算出根拠等			達成率(%)	78	62		
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足	<ul style="list-style-type: none"> ・観光統計のアンケート集計結果と物産展の開催回数を比較すると、物産展の開催回数に比例して、高山を知った主な媒体として「飛騨高山展」を選択する人が多くなる傾向にあり、物産展の開催は市内への観光客誘客にも大きな効果が上がっている状況である。 						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・飛騨高山展の開催は、物販・観光宣伝の面で大きな効果があるが、より観光客の誘客に効果的な実施方法や、新たな手法による地場産業の振興策についても検討していく必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・物販・観光宣伝の面で、より効果的な催事となるよう、百貨店等との調整を行い、物産展を開催している。 岐阜高島屋(5月30日～6月5日)、横浜高島屋(7月18日～7月23日)、名古屋松坂屋(7月25日～7月30日) ・新たな手法による地場産業の振興策についての検討を行っている。 	
次年度の 実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品開発の取り組み等も促進しながら、より効果的な物販・観光宣伝に向けて取り組み必要がある。 ・新たな手法による地場産業の振興策についての検討を行い、実施する必要がある。 ・売り上げだけでなく開催がもたらす経済効果を検証するとともに、より効果的な開催方法への転換や新たな販売促進について検討する必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	5,926	21,118	17,580	19,849
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	5,926,000	21,118,000	17,580,000	19,849,000
	受益者	高山市産業振興協会	(B)	1	1	1

5 予算編成(Action2)

事業内容	国内外に向けた物産宣伝、販路拡大のための事業 ・飛騨高山展の開催 ・産業振興協会の運営に対する助成	要求の ポイント	新規百貨店等による飛騨高山展の開催 物産展をはじめとする各種催事における物産宣伝にかかる経費の増	事業 実施の 課題	新規百貨店等の発掘 効果的な物産宣伝の検討
------	---	-------------	---	-----------------	--------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	17,580	19,849	2,269	17,280	17,280	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	200						
一般財源	17,380	19,849	2,469	17,280	17,280		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61105	伝統的工芸品産業振興事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます ・飛驒の匠の心と、モノづくりにかかわる全ての産業分野で優れた技術の継承と創出に対する取り組みを支援するために、飛驒の匠認証制度を創設します
	課			6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業		
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	総合計画	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	千円		
	目	1		商工振興費	施策		1	経営体質の強化					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	飛驒春慶連合協同組合、飛驒一位一刀彫協同組合等	どうしたいのか(意図)	・伝統的工芸品産業の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	事業の実手法(手段)	・飛驒伝統的工芸品産業振興協議会負担金の交付 ・飛驒春慶連合協同組合補助金の交付 ・飛驒一位一刀彫協同組合補助金の交付
	対象者数	3 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 飛驒春慶連合協同組合50周年記念事業(小学生教材用小冊子作成)に対して事業費を助成 飛驒春慶連合協同組合、飛驒一位一刀彫協同組合に対して運営費を助成 飛驒の伝統的工芸品展を飛驒高山まちの博物館で開催(平成23年11月) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	飛驒の伝統工芸品展出品点数	点	目標値	180	180	180	180
		実績値	178	168				
	算出根拠等	春慶、一刀彫、陶磁器等の出品点数		達成率(%)	99	93		
	成果指標	飛驒の伝統工芸品展入場者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値	2,700	2,198				
	算出根拠等	工芸品展(6日間)の入場者数		達成率(%)	90	73		
	成果指標	伝統的工芸品産業団体の組合員数	人	目標値				
		実績値	79	76				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果指標	漆器・漆器木地・一位一刀彫の製造品出荷額等	億円	目標値				
		実績値	12	9				
算出根拠等	工業統計調査		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					

・伝統的工芸品のすばらしさを市民、観光客に周知するため、伝統的工芸品展を飛驒高山まちの博物館で6日間開催しているが、その後も常設展示に切り替えて1ヶ月間展示しており、実際は成果指標欄の実績数値よりも多くの方々に来場していただけており、宣伝効果は高い。

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・伝統的工芸品産業は、販売高の減少や、職人の高齢化、後継者不足、原材料の不足等、さまざまな課題を抱えているため、「匠の認証制度」の実施をはじめとする産業の活性化策にさらに取り組んでいく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統職人をテーマとした写真展を飛驒高山まちの博物館で開催し、そのすばらしさを市民、観光客にPR(5月23日～6月16日) ・一位一刀彫のPR/バッジの製作に向けて飛驒一位一刀彫協同組合と協議中 ・11月を伝統的工芸品月間として、伝統的工芸品展をはじめとした各種事業を開催するよう、伝統的産業団体と検討中 ・原材料確保のための貸付を実施 		
次年度の実施方針	○維持・改善	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業そのものが衰退傾向にある中で、原材料や後継者の確保など多くの課題を抱えているため、飛驒の匠認証制度の創設や伝統的工芸品月間の事業を行いながら、次年度以降も事業を継続する。 ・伝統産業団体等関係団体との意見交換を踏まえ、「飛驒の匠認証制度」の立ち上げに向け、認定要件やその後の支援策などの制度設計を早期に行う必要がある。
	○維持・改善	縮小	
	○維持・改善	廃止検討	
	○維持・改善	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,104	1,074	1,645	1,195
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	368,000	358,000	548,333	398,333
	受益者	飛驒春慶連合協同組合、飛驒一位一刀彫協同組合等	(B)	3	3	3

5 予算編成(Action2)

事業内容	伝統的工芸品産業関連団体の運営・各種事業に対する支援	要求のポイント	PR用一位一刀彫バッジ作成費用の減	事業実施の課題	販売減による産業の縮小 職人の高齢化・後継者不足 一位材は国内資源減少により入手が困難
------	----------------------------	---------	-------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,645	1,195	△ 450	1,145	1,145	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他							
一般財源	1,645	1,195	△ 450	1,145	1,145		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61110	観光土産品奨励振興事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	種別			6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	目	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	1,000 千円	
	項	1		商工費	施策		1	経営体質の強化				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか(意図)	・地域経済を支える中小企業をはじめ、業界団体、地場産業等の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・新作土産品及び推奨土産品の審査・公表、推奨土産品登録証紙によるPR等を実施
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・土産品振興奨励審査会を開催(平成24年2月22日)し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(最優秀賞1点、優秀賞3点、奨励賞5点) 推奨土産品の登録(新規18点、継続51点)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	土産品振興奨励審査会の開催回数	回	目標値	1	1	1	2
		実績値	1	1				
	算出根拠等	開催回数/年	達成率(%)	100	100			
	成果指標	新作土産品の表彰件数	件	目標値	10	10	10	10
		実績値	9	9				
	算出根拠等	表彰件数/年	達成率(%)	90	90			
				目標値				
		実績値						
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
		実績値						
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
実績値								
算出根拠等		達成率(%)						
補足	・毎年、多くの新作土産品、推奨土産品の申請があり、ものづくりの意欲の向上、企業活動の活性化に寄与している。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市内で開発、生産される土産品の振興に向けたさらなる支援策の検討が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・産業関連団体や事業者等との意見交換を行い、市内で開発、生産される土産品の振興に向けた支援策を検討中	
次年度の実施方針	○維持・改善	・平成23年度の新作土産品の応募件数は23件、推奨土産品の応募件数は71件あり、市内事業者のニーズは高いため、次年度以降も事業を継続する必要があるが、市内で開発、生産される土産品の振興に向けたさらなる支援策の検討が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・推奨土産品登録証紙(シール)による効果を検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	427	637	680	1,420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	62	93	99	207
	受益者	市内中小企業者(H18.10現在)	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	土産品振興奨励制度の実施にかかる経費 ・審査会の開催、各種印刷物の作成 ・推奨土産品のPRポスターによる啓発	要求のポイント	市内で製造される土産品の販売促進に向けた推奨土産品登録証紙(シール)の利用促進にかかる経費の増	事業実施の課題	市内で製造される土産品の販売低迷
------	--	---------	---	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		680	1,420	740	750	750	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
一般財源		680	1,420	740	750	750		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61120	高山商工会議所等補助金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	課			6	商工費		分野	5	商業		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	目	基本施策	1	地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	38,200 千円	
	目	1		商工振興費	施策		1	商店経営の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山商工会議所、商工会	どうしたいのか(意図)	・高山市内の商工業者への指導、経営相談を行う商工会議所及び商工会を支援することにより、市内の商工業の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対して補助金を交付 ・商工会の運営費に対して補助金を交付
	対象者数	4 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対して補助金を交付 ・商工会の運営費に対して補助金を交付							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	補助金交付団体数	人	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	4				
	算出根拠等	補助金交付団体数/年	達成率(%)	100	100			
	成果指標	商工会議所の会員数	事業所	目標値				
		実績値	2,530	2,499				
	算出根拠等	達成率(%)						
	成果指標	商工会の会員数	事業所	目標値				
		実績値	1,224	1,204				
	算出根拠等	達成率(%)						
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等	達成率(%)						
				目標値				
			実績値					
算出根拠等	達成率(%)							
補足	・全国的に景気の低迷が長引いている中、商工会議所、商工会の活動に対して支援を行うことにより、会員数の確保に維持・確保につながっている。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・商工会においては、県商工会連合会の主導により、平成24年度から組織改編に取り組んでおり、こうした取り組みに合わせて、効果的に支援を行っていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・平成24年度から実施された商工会の組織改編に伴い、補助金の算定方法の見直しを行った。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	36,169	35,956	32,485	32,938
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9,042,250	8,989,000	8,121,250	8,234,500
	受益者	高山商工会議所、商工会	(B)	4	4	4

5 予算編成(Action2)

事業内容	商工会議所の運営・各種事業に対する助成 商工会の運営に対する助成	要求のポイント	市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続	事業実施の課題	平成24年度から取り組まれている商工会の組織改編に合わせた効果的な支援
------	-------------------------------------	---------	---	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		32,485	32,938	453	32,960	32,960	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金	91	91		88	88		
	その他							
	一般財源	32,394	32,847	453	32,872	32,872		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61125	商店街振興事業補助金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	中心市街地活性化基本計画	市長公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます。 商店街の活性化を促進させるため、商店街の自主活動を支援するとともに、商店街再構築整備助成を充実させます。
	種別			6	商工費		分野	5	商業		実施計画事業		
担当課	中心市街地活性化推進室		予算	内線	2798	目	基本施策	1	地域の特色を活かした活力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	22,500 千円		
				1	商工振興費		施策	2	にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	商店街振興組合、中心市街地の活性化のための活動を行う団体や事業者	どうしたいのか(意図)	・商店街事業に対する支援により、にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地における魅力ある商業機能の集積を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・商店街事業に対する補助(サマーフェスティバル、空き店舗活用、商店街再構築整備、リバーサイド修景、駐車場利用促進、電灯料)
	対象者数	16,808 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	商店街機能強化事業補助金 (2件) ・商店街リバーサイド事業補助金 (1件) ・サマーフェスティバル補助金 (7月～8月) ・商店街駐車場利用促進事業補助金および商店街街路灯電灯料補助金 ・商店街振興組合連合会補助金						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	空き店舗対策事業活用件数	件	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等	活用件数	実績値	2	0		
活動指標	サマーフェスティバル参加者数	人	目標値	26,000	26,000	26,000	26,000
	算出根拠等	参加者数	実績値	26,980	29,065		
成果指標	商店街振興組合形成区域内の営業店舗数	件	目標値	366	366	366	366
	算出根拠等	空き店舗調査による件数	実績値	368	357		
成果指標			達成率(%)	102	99		
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・商店街振興事業は、商店街活性化のために有効に活用されているが、今後、より多くの市民や観光客が商店街を訪れる機会が創出されるような取り組みについて、商店街団体等と連携し、さらに検討していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・高齢化や後継者不足等により空き店舗の増加傾向は継続しているものの、よって館に見られる地域住民の憩いの場や、多世代交流の場としての活用など、商店街のにぎわい創出につながる取り組みも行われている。こうした施設を活用したソフト事業を他部局及び関係団体とともに検討していく必要がある。 ・また、アーケード改修を含めた歩行者空間の改修によりまちの魅力を高める事業などを行うとともに、その場所を利用したソフト事業の実施により、まちのにぎわいの創出を図る。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ハード事業、ソフト事業とも市民の認知度が高く、集客効果も高いため、次年度以降も事業を見直し・改善しつつ維持継続していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・商店街振興に係る各補助事業については、有効性が高いものを継続的に実施することが望ましいため、事業効果を検証し、見直しを検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	17,404	17,130	25,240	27,923	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,052	1,047	1,557	1,739	
	受益者	中活区域人口(10月1日現在)	(B)	16,541	16,355	16,210	16,053

5 予算編成(Action2)

商店街機能強化補助金(商店街等が借上げする空き店舗活用事業への助成及びアーケード整備事業に対する助成) 商店街リバーサイド事業補助金 サマーフェスティバル補助金 商店街駐車場利用促進事業補助金 商店街街路灯電灯料補助金 商店街振興組合連合会補助金 商店街街路灯改修補助金(新設)	要求のポイント 商店街機能強化事業補助金(安川アーケード改修 H23～H25) 商店街街路灯改修補助金の新設	事業実施の課題 官民連携した施策展開
---	--	-----------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	25,240	27,923	2,683	25,440	25,440	・積算内容を精査 ・商店街街路灯のLED化改修助成制度を創設	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	25,240	27,923	2,683	25,440	25,440		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61127	中心市街地活性化事業	会計	1	一般会計	総	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	中心市街地活性化基本計画	市長公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます。 商店街の活性化を促進させるため、商店街の自主活動を支援するとともに、商店街再構築整備助成を充実させます。
	課			6	商工費			分野	5				
担当課	中心市街地活性化推進室		内線	2798	目	1	基本施策	1	地域の特色を活かした活力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	22,900 千円		
	項	1						商工費	施策				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中心商店街を訪れる市民及び観光客、地域住民、商店、起業家、伝統的産業業界団体	どうしたいのか(意図)	・飛騨地方の政治・経済・文化・交通の中心としての役割を担ってきた中心市街地の維持・活性化を図ることで、市全体の発展につなげる。	概要	事業の実施手法(手段)	・空き店舗活用補助、シースルーシャッター整備補助、まちなか活性化イベント補助、まちの緑創出
	対象者数	16,808 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・空き店舗対策事業補助金(27件) ・シースルーシャッター等設置補助金(2件) ・まちなか活性化イベント補助金(1件) ・まちの緑創出、アンテナショップ管理経費						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	空き店舗補助活用件数	件	目標値	6	6	6	6
	実績値		6	18			
算出根拠等		活用件数	達成率(%)	100	300		
活動指標	まちなか活性化イベント件数	件	目標値	5	5	5	5
	実績値		2	1			
算出根拠等		活用件数	達成率(%)	40	20		
活動指標	シースルーシャッター等設置件数	件	目標値	2	2	2	2
	実績値		1	2			
算出根拠等		活用件数	達成率(%)	50	100		
成果指標	中心市街地居住人口	人	目標値	16,800	16,800	16,800	16,800
	実績値		16,541	16,355			
算出根拠等		中活区域人口(10月1日現在)	達成率(%)	98	97		
算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・中心市街地区域での空き店舗率は、ほぼ横ばいとなっているが、空き店舗が住宅化していく例も多々みられる。 ・今後は、従来からの空き店舗補助事業に加え、特に商店街形成地区での店舗の宅地化を防ぐ施策を検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・中心市街地活性化基本計画により、平成22年から実施されてきた事業が3年目を迎えたことから、実績や効果を踏まえ見直し等を検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・今年度の事業の見直しにより改善された事業について推進し、まちのにぎわいの創出を図る。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・中心市街地活性化に係る各補助事業については、有効性が高いものを継続的に実施することが望ましいため、事業効果を検証し、見直しを検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	11,287	10,697	12,940	17,112
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	682	654	798	1,066
	中活区域人口(10月1日現在)	(B)	16,541	16,355	16,210	16,053

5 予算編成(Action2)

事業内容 空き店舗対策事業補助金(空き店舗活用及びシースルーシャッター等の設置に対する助成) まちなか活性化イベント補助金 まちの緑創出の開設に係る経費 中心市街地活性化調査に係る経費	要求のポイント 空き店舗対策事業補助金の増 中心市街地活性化調査委託料の増	事業実施の課題 少子高齢化、郊外への人口流出等による地域活性化の担い手不足 空き店舗の増
--	---	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,940	17,112	4,172	11,800	11,800	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	12,940	17,112	4,172	11,800	11,800		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61128	まちなか居住促進事業	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	中心市街地活性化基本計画	市 長 公 約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます。 商店街の活性化を促進させるため、商店街の自主活動を支援するとともに、商店街再構築整備助成を充実させます。
	種 別			款	6	商工費		分野	5	商業	実施計画事業	まちなか居住促進事業		
担当課	中心市街地活性化推進室		内線	目	1	商工費	基本施策	1	地域の特色を活かした活力ある商業の振興を図る		H25実施計画額	35,800 千円		
			2798	目	1	商工振興費	施策	2	にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中心市街地外から中心市街地に移住する者、中心市街地に住み続ける者	どうしたいのか(意図)	誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境の整備と中心市街地の活性化を図る。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地において、自己居住用の住宅の新築・取得・改修に対する補助 高山市に登録された借家等に入居する者に対する家賃及び付属する駐車場借上料に対する補助 中心市街地において、5戸以上の集合住宅等の新築・改修に対する補助
	対象者数	16,808 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> まちなか居住促進事業補助金 持家住宅の改修に係る補助金 (32件) 賃貸住宅の家賃補助金 (75件) 集合住宅の建設補助金 (0件) 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	まちなか定住促進事業活用件数	件	目標値	30	30	30	30
活動指標	算出根拠等	活用件数	実績値	33	32		
	達成率(%)		110	107			
活動指標	まちなかパートナーシップ推進事業活用件数	件	目標値	30	30	30	30
	算出根拠等	活用件数	実績値	26	53		
成果指標	中心市街地の居住人口(まちなか居住事業による)	人	目標値	150	150	150	150
	算出根拠等	補助事業活用による人口	実績値	143	189		
成果指標	達成率(%)		95	126			
	目標値						
成果指標	算出根拠等		実績値				
	達成率(%)						
補足	目標値						
	算出根拠等		実績値				
	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の定住人口を増加するためには、現在行っている施策だけでなく、まちなかの魅力をいかに高めていくかが課題となっている。 昨年度から、商店街等でまちなかの魅力を高める事業に取り組んでおり相乗効果を期待している。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画により、平成22年から実施されてきた事業が3年目を迎えたことから、実績や効果を踏まえ見直し等を検討する。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地は、少子高齢化が著しく進んでおり、商業活動・地域コミュニティの維持が困難となってきている。 さらに、制度の周知を図り、誰もが安心して快適に住み続けられる居住環境の整備と市街地の活性化を図る。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> まちなか居住に係る各補助事業については、これまでの実績を踏まえ、事業効果を検証し、見直しや廃止を含めた検討が必要である。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	21,232	29,150	45,000	83,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,284	1,782	2,776	5,170	
	受益者	中活区域人口(10月1日現在)	(B)	16,541	16,355	16,210	16,053

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> まちなか定住促進事業(持家住宅の新築、改修に係る補助金) まちなか居住推進パートナーシップ事業(賃貸住宅の家賃補助金) まちなか集合住宅等建設促進事業(集合住宅の建設補助金) 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> まちなか定住促進事業の見直し 助成件数増に伴う必要経費の増 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 助成制度の周知を強化 助成制度によるまちなかへの誘導(動機付けとなっているか)
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	45,000	83,000	38,000	55,000	55,000	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	45,000	83,000	38,000	55,000	55,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61130	伝統的工芸品産業後継者育成事業補助金	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます ・飛驒の匠の心と技を伝えるため、伝承技術人材育成助成を新設します
	款			6	商工費	分野		6	工業	実施計画事業		伝統的工芸品産業後継者育成事業、飛驒の匠育成事業		
担当課	商工観光部 商工課		内線 2213	項	1	商工費	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	3,200 千円			
	目	1		商工振興費	施策	1		経営体質の強化						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	伝統的工芸品産業事業所及び技術習得研修者等	どうしたいのか (意図)	・伝統的工芸品である飛驒春慶、一位一刀彫に携わる事業所及び後継者、木工芸術スクール入校者等を支援することにより、伝統的工芸品産業の振興と伝承、飛驒の匠の育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・伝統的工芸品産業の事業所及び技術習得研修者に対して補助金を交付 ・木工芸術スクール(木工・建築意匠化建築コース)入校者等に対して補助金を交付
	対象者数	76 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	実績なし						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	技術習得研修者数	人	目標値	2	2	2	2
	算出根拠等		実績値	1	0		
			達成率(%)	50	0		
活動指標	木工芸術スクール(木工・建築意匠化建築コース)入校者等の数	人	目標値	2	2	2	2
	算出根拠等		実績値	0	0		
			達成率(%)	0	0		
成果指標	伝統的工芸品産業団体の組合員数	人	目標値				
	算出根拠等		実績値	79	76		
			達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・伝統的工芸品産業そのものが衰退傾向にある中で、後継者を数多く育成することは困難であるが、伝統的工芸品の後継者としての希望者が現われた場合に、当制度が後継者の育成に向けて効果的な支援内容となるよう、事業者や伝統的工芸品産業団体の意見を聴取し、再考する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・事業者や伝統的工芸品産業団体との意見交換を行い、後継者育成の効果的な支援策の設計に向け、検討を行っている。	
担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・伝統的工芸品の後継者としての希望者が現れた場合に、当制度が後継者の育成に向けて効果的な支援内容となるよう、事業者や伝統的工芸品産業団体の意見を聴取し、改善していく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・伝統産業団体等関係団体との意見交換を踏まえ、「飛驒の匠認証制度」の立ち上げに向け、認定要件やその後の支援策などの制度設計を早期に行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	70	0	2,180	3,980	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	886	0	28,684	52,368	
	受益者	伝統的工芸品産業事業所及び技術習得研修者等	(B)	79	76	76	76

5 予算編成(Action2)

事業内容	伝統的工芸品産業をはじめとする後継者不足が懸念される産業における後継者育成のための支援 匠後継者の道具代に対する助成	要求のポイント	伝統的工芸品産業後継者育成事業補助金を廃止し、伝統的工芸品に限らず後継者不足が懸念される産業において、匠の技を継承する職人を支援するための伝統産業技術修得補助金を新設	事業実施の課題	販売減による産業の縮小 職人の高齢化・後継者不足 高度な伝産技術の継承
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,180	3,980	1,800	2,180	2,180	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	2,180	3,980	1,800	2,180	2,180		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61140	地場産業振興事業補助金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	2	商工業・地場産業をさらに発展させます。 ・世界に誇れる技術やデザイン性を有した地場産業を、売り上手な産業に育てるためマーケティングの強化支援やモノづくりの芽を支援し、市長が先頭に立った積極的なセールスを行ないます
	課			6	商工費		分野	6	工業	実施計画事業	地場産業振興事業、地場産業活性化奨励事業			
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	総合計画	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	35,150 千円	市長公約	2	商工業・地場産業をさらに発展させます。 ・世界に誇れる技術やデザイン性を有した地場産業を、売り上手な産業に育てるためマーケティングの強化支援やモノづくりの芽を支援し、市長が先頭に立った積極的なセールスを行ないます
	目	1		商工振興費	施策		1	経営体質の強化						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	飛騨地域地場産業振興センター	どうしたいのか(意図)	・財団法人飛騨地域地場産業振興センターが実施する事業に対して助成を行うことにより、飛騨地域における地場産業振興および地場産業の健全な育成、発展を図る。	概要	事業の実手法(手段)	(財)飛騨地域地場産業振興センターの管理運営に要する経費及び下記事業に対して補助金を交付 ・地場産業総合振興事業 ・地場産業活性化対策事業 ・地場産業活性化奨励事業 ・地場産業振興事業推進費補助金
	対象者数	1 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	飛騨の伝統的工芸品展示会、人材育成事業の実施 ・味まつり、親子地場産業見学会、親子体験教室の実施 ・飛騨・高山暮らしと家具の祭典、飛騨のクラフト新作展の実施 ・地場産業振興センターの運営等に対して支援						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	補助金交付団体数	件	目標値	1	1	1	1
成果指標	味まつり来場者数	人	実績値	1	1		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果面	目標値						
	実績値		87,000	82,000			
補足	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・昨今の景気低迷、東日本大震災の影響により市内の地場産業が苦境に陥っている状況の中、県補助金が削減方向にあるため、飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策を継続していくために、引き続き財源の確保に努めていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・効率的な事業の執行と県補助金の確保に努めている。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	31,684	29,231	29,231	29,231
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	31,684,000	29,231,000	29,231,000	29,231,000
	飛騨地域地場産業振興センター	(B)	1	1	1	1

5 予算編成(Action2)

事業内容	地場産業振興センターの運営及び各種事業に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題
			依然として厳しい市内景況への対応 ブランド力の強化による地場産業の活性化

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	29,231	29,231		29,231	29,231	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金	6,236	6,236		6,236	6,236		
一般財源	22,995	22,995		22,995	22,995		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61147	飛騨高山ブランド振興事業補助金	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちづくりを目指して	根 拠 計 画	高山市産業振興計画	市 長 公 約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます。 ・世界に誇れる技術やデザイン性を有した地場産業を、売り上手な産業に育てるためマーケティングの強化支援やモノづくりの芽を支援し、市長が先頭に立った積極的なセールスを行ないます
	種 別			款	6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業		
担当課	商工観光部 商工課		内 線	項	1	商工費	基本 策 画	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	6,000 千円		
	目	1		商工振興費	施策	1		経営体質の強化						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業	どうしたいのか(意図)	・市内の事業者や団体等が行う地域団体商標制度を活用したブランドの展開を支援することにより、飛騨高山ブランドの更なる強化を促進し、地域産業の活性化を図る。	概 要	事業の実施手法(手段)	・地域ブランド確立計画の実施に必要な販路開拓事業、または地域団体商標制度を活用したブランド展開に取り組む事業に対して補助金を交付
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	ブランド確立計画に基づき、海外で開催される国際見本市への出展事業に対して支援						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	海外見本市への出展助成の申請件数	件	目標値	1	1	1	3
活動指標	算出根拠等		実績値	1	1		
			達成率(%)	100	100		
活動指標	飛騨高山ブランドの新商品開発助成の申請件数	件	目標値	1	1	1	5
	算出根拠等		実績値	0	0		
活動指標			達成率(%)	0	0		
成果指標	海外見本市における商談・情報収集件数	件	目標値	300	300	300	500
	算出根拠等		実績値	152	251		
成果指標			達成率(%)	51	84		
成果指標	飛騨高山ブランドの新商品開発件数	件	目標値	2	2	2	5
	算出根拠等		実績値	0	0		
成果指標			達成率(%)	0	0		
補足			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・外貨獲得や雇用創出など地域の活性化を図るために、特に新商品開発、販路開拓に積極的に取り組もうとする事業者が利用しやすい制度となるよう検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・新商品開発にかかる支援制度について、利用しやすい制度とするために補助率、補助限度額を見直し、拡充した。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・外貨獲得や雇用創出など地域の活性化を図るために、当該助成制度の周知に取り組むとともに、意欲ある事業者や団体等のチャレンジを積極的に働きかける必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,000	4,000	6,000	15,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	583	583	875	2,260
	受益者	市内中小企業者(H18.10現在)	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	市内事業者が自ら作成した地域ブランド確立計画の実施に必要な販路開拓事業、地域団体商標制度を活用したブランド展開に取り組む事業に対する支援	要求のポイント	市内中小企業者単独での国内外見本市出展に対する助成連携体によるIT推進に対する助成	事業実施の課題	市内で製造される商品のブランド力強化、販路拡大のための見直し
------	--	---------	---	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,000	15,500	9,500	12,000	12,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		4,000	4,000	4,000	4,000		
	その他							
	一般財源	6,000	11,500	5,500	8,000	8,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61148	新分野開拓支援補助金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	課			6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内線	2213	目	1	商工費	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	千円
	目	1		商工振興費	施策	2	あらたな工業の創出					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内在住の新規開業希望者(20歳以上人口)	どうしたいのか(意図)	・市内で新規に事業を創業者の経営の安定と事業の発展を図るため、事業者が融資を受けて行う事業活動に対し助成することにより、市内を拠点とする新たな事業展開の推進を図る。 ・市内中小企業が大学等と連携して行う新製品研究・開発等の取り組みを支援することにより地域産業の活性化及びブランド力の強化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援資金融資制度の実施 ・保証料補給(支払った保証料の1/2以内の額) ・利息補給(借入の日から3年以内を支払った利息) ・岐阜県創業支援資金融資の実行を受けた事業者に対して利子相当額を3年間助成 ・市内中小企業が大学等と連携して行う新製品研究・開発等の取り組みに対する助成
	対象者数	75,328 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市創業支援資金融資 融資総額(件数) 28,500千円(6件) 保証料補給額 455千円 利息補給額 1,748千円 県創業支援資金融資利用者への利息補給 2,136千円(25件) 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	融資件数(市制度融資)	件	目標値	10	10	10	10
	算出根拠等		実績値	10	6		
活動指標	補助金交付件数(県制度融資)	件	目標値	20	20	20	20
	算出根拠等		実績値	20	25		
成果指標	市内事業所数	件	目標値				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	7,157	7,157		
成果指標	市内事業所の従業者数	人	目標値				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	49,664	49,664		
成果指標	市内の製造品出荷額等	億円	目標値				
	算出根拠等	工業統計調査	実績値	1,158	1,059		
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間競争が激化の中で、地域がもつ独自の資源を最大限に活用し、他地域との違いを明確に打ち出すためには、産学官・異業種連携の必要性がますます高まっているため、分野や業種を越えてその取り組みを促進していく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携や異業種連携に取り組む際のニーズ等を把握し、利用しやすい制度となるよう改正等を検討する。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家育成のための市創業支援資金融資制度及び県創業支援資金融資利用者への利息補給制度は年間を通じて安定して利用実績があり、起業家の資金調達に寄与していることから、より起業家のニーズにあった制度となるよう改善等を行いながら、次年度以降についても事業を継続する。 ・産学官連携等促進事業補助金制度は、事業者の産学官・異業種連携の取り組みを促進するため、利用しやすい制度となるよう改正等を検討する。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業に市が連携協定を結んでいる大学の研究情報を提供する等、産学官連携の具体的な取り組みを進めていく必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	34,217	36,451	42,650	39,777
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	451	482	566	528
	受益者	市民(20歳以上)	(B)	75,907	75,601	75,328

5 予算編成(Action2)

事業内容	市制度融資に要する経費 利子・保証料に対する助成 産学官連携による商品開発等の取組みに対する支援 起業家支援ハンドブックの作成	要求のポイント	各種支援策や各種手続き等を紹介し、起業家を包括的に支援する起業家支援ハンドブックを作成、配布	事業実施の課題	ニーズに即した制度内容への見直し 起業家支援策の周知
------	--	---------	--	---------	-------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	42,650	39,777	△ 2,873	38,000	38,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	34,000	30,000	△ 4,000	30,000	30,000		
	一般財源	8,650	9,777	1,127	8,000	8,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61149	中小企業振興支援事業補助金	予 算	会計	1	一般会計	総 合 計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市 長 公 約
	款			6	商工費	分野		6	工業	実施計画事業			
担当課	商工観光部 商工課		内 線	項	1	商工費	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	千円		
	目	1		商工振興費	施策	1		経営体質の強化					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか(意図)	概要	事業の実手法(手段)	・岐阜県中小企業振興支援資金融資制度要綱に基づいて行われる産業活性化資金、経営合理化資金の実行を受けた事業者に対し、年間100万円を限度に利子相当額を3年間助成 また、岐阜県中小企業振興支援資金融資制度要綱に基づいて行われる経済変動対策資金(震災枠)の実行を受けた事業者に対し、利子相当額を3年間助成
	対象者数	6,857 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 県産業活性化・経営合理化支援資金融資利用者への利子補給 32,744千円(216件) 県中小企業福祉・子育て・環境保全支援資金融資利用者への利子補給 97,205千円(710件) 県経済変動対策資金融資利用者への利子補給 22,192千円(68件) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	補助金交付件数	件	目標値	300	800	800	800
		実績値	583	994				
	算出根拠等		達成率(%)	194	124			
	成果指標	市内事業所数	件	目標値				
		実績値	7,157	7,157				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	達成率(%)					
	成果指標	市内事業所の従業員数	人	目標値				
		実績値	49,664	49,664				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	達成率(%)					
	成果指標	市内の製造品出荷額等	億円	目標値				
		実績値	1,158	1,059				
	算出根拠等	工業統計調査	達成率(%)					
	補足			目標値				
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
・景気の低迷が長引いていることなどから、市内事業者のニーズは高く、利用実績は近年大きく増加している。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・利用が急増しており、年度末に補助金交付事務が集中するため、補助金交付手続き等の円滑化等を検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況		・補助金交付手続き等の円滑化等を検討する。
次年度の 実施方針	○維持・改善	・昨今の景気の低迷等により市内事業者のニーズは高く、利用件数は非常に多い。次年度以降についても事業を継続する。 (担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	90,635	152,142	197,000	145,150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	13,218	22,188	28,730	21,168
	受益者	市内中小企業者(H18.10現在)	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	県制度融資利用事業者に対する助成	要求のポイント	県制度融資の制度改正による融資利用件数の減	事業実施の課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	------------------	---------	-----------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		197,000	145,150	△ 51,850	145,000	145,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	197,000	145,150	△ 51,850	145,000	145,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61160	県保証協会小口融資預託金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	種別			款	6		商工費	分野	5		商業	
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	目	基本施策	1	地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	883,000 千円	
	項	1		商工費	施策		1	商店経営の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか(意図)	市内中小企業者の経営の安定化を図る。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業融資(小規模企業融資及び特別小口融資)制度の実施 保証料補給(支払った保証料の1/2以内の額) 利子補給(借入れの日から3年以内に支払った利息)
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市小口融資 融資総額(件数) 963,200千円(246件) 保証料補給額 12,534千円 利子補給額 15,946千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	融資件数	件	目標値	240	240	280	280
		実績値	220	246				
	算出根拠等	20件/月×12ヶ月	達成率(%)	92	103			
	成果指標	市内事業所数	件	目標値				
		実績値	7,157	7,157				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	達成率(%)					
	成果指標	市内事業所の従業者数	人	目標値				
		実績値	49,664	49,664				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	達成率(%)					
	成果指標	市内の製造品出荷額等	億円	目標値				
		実績値	1,158	1,059				
	算出根拠等	工業統計調査	達成率(%)					
	算出根拠等			目標値				
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足	・県内の自治体における平成22年度の県信用保証付小口融資の実績は、最も融資件数、融資額が多い。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・毎年度利用が多く、年度末に補助金交付事務が集中するため、補助金交付手続き等の円滑化等を検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・補助金交付手続き等の円滑化等を検討する。		
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・昨今の景気の低迷等により市内事業者のニーズは高く、利用件数は非常に多い。次年度以降についても事業を継続する。	
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討		(担当課評価に同じ)
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討		
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	808,567	645,916	644,578	539,406
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	117,918	94,198	94,003	78,665
	受益者	市内中小企業者	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	市制度融資に要する経費 利子・保証料に対する助成	要求のポイント	融資利用件数の減	事業実施の課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	-----------------------------	---------	----------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	644,578	539,406	△ 105,172	543,551	543,551	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	600,001	500,001	△ 100,000	500,001	500,001		
一般財源	44,577	39,405	△ 5,172	43,550	43,550		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61165	県保証協会中小企業経営安定特別融資預託金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	課			6	商工費		分野	5	商業		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内線	2213	目	1	基本施策	1	地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	973,000 千円	
	項	1					商工費	施策	1		商店経営の充実	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか(意図)	市内中小企業者の経営の安定化を図る。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業融資(経営安定特別資金融資)制度の実施 保証料補給(融資額の1%以内の額) 利子補給(借入れの日から3年以内に支払った利息)
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 市経営安定特別資金融資 融資総額(件数) 1,162,860千円(182件) 保証料補給額 9,482千円 利子補給額 33,897千円 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	融資件数	件	目標値	180	180	200	200
		実績値		137	182			
	算出根拠等	20件/月×12ヶ月	達成率(%)	76	101			
	成果指標	市内事業所数	件	目標値				
		実績値		7,157	7,157			
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	達成率(%)					
	成果指標	市内事業所の従業者数	人	目標値				
		実績値		49,664	49,664			
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	達成率(%)					
	成果指標	市内の製造品出荷額等	億円	目標値				
		実績値		1,158	1,059			
	算出根拠等	工業統計調査	達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
算出根拠等		達成率(%)						
算出根拠等		達成率(%)						
補足	<ul style="list-style-type: none"> 高山市独自の県信用保証付融資として、毎年度多くの中小企業者に利用されている。 平成23年度は、東日本大震災の影響を受けた事業者の経営の早期安定化を図るため、震災枠を新設し、通常枠とあわせて多くの利用があった。 							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度利用が多く、年度末に補助金交付事務が集中するため、補助金交付手続き等の円滑化等を検討する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付手続き等の円滑化等を検討する。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 昨今の景気の低迷等により市内事業者のニーズは高く、利用件数は非常に多い。次年度以降についても事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	743,680	787,084	759,000	690,664
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	108,456	114,785	110,690	100,724
	受益者	市内中小企業者	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	市制度融資に要する経費 利子・保証料に対する助成	要求のポイント	融資利用件数の減	事業実施の課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	-----------------------------	---------	----------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		759,000	690,664	△ 68,336	712,000	712,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	705,000	640,000	△ 65,000	660,000	660,000		
	一般財源	54,000	50,664	△ 3,336	52,000	52,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61168	小規模事業者経営改善資金貸付 利子補給金	内線	2213	予 算	会計 1 一般会計	総 合 計 画	政策 4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市 長 公 約
	款 6 商工費					分野 5 商業					
担当課	商工観光部 商工課					項 1 商工費		基本施策 1 地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	実施計画事業		
	目 1 商工振興費	施策 1 商店経営の充実				H25実施計画額		千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか (意図)	・景気対策として市内中小企業者が受けた小規模事業者経営改善資金融資にかかる利子を補給することにより、中小企業者の経営の安定を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金貸付制度に基づいて行われた融資にかかる利子のうち、融資の実行を受けた日から3年間に支払われた額以内で、年利1%以内の額を補給
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資利用者への利子補給 2,200千円(95件)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	補助金交付件数	件	目標値	100	100	100	100
成果指標	算出根拠等		実績値	73	95		
			達成率(%)	73	95		
成果指標	市内事業所数	件	目標値				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	7,157	7,157		
成果指標	市内事業所の従業者数	人	目標値				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	49,664	49,664		
成果指標	市内の製造品出荷額等	億円	目標値				
	算出根拠等	工業統計調査	実績値	1,158	1,059		
補足			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・商工会議所、商工会と連携して市内中小企業者に対して制度の周知を行い、さらに利用を促進していく必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・商工会議所、商工会と定期的に情報交換会を開催し、利用促進等について検討をしている。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善	・昨今の景気の低迷等により市内事業者のニーズは高いため、次年度以降についても事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評 価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,745	2,200	3,300	3,975
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	254	321	481	580
	受益者	市内中小企業者	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	国制度融資利用事業者に対する助成	要求の ポイント	融資利用件数の増	事業 実施 の 課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	------------------	-------------	----------	---------------------	------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,300	3,975	675	2,500	2,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	3,300	3,975	675	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61169	経営環境変化資金貸付利子補給金	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画		市長公約
	課			6	商工費		分野	5		商業	実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内線	2213	目	1	商工振興費	基本施策	1	地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	千円
	課	1		商工振興費		施策	1		商店経営の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか(意図)	・東日本大震災等の影響に対する経済対策として、市内の中小企業者が受けた経営環境変化資金融資に係る利子を補給することにより、中小企業者の経営の安定を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・日本政策金融公庫の経営環境変化資金貸付制度に基づいて行われた融資にかかる利子のうち、融資の実行を受けた日から3年間に支払われた額以内で、全額を補給
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・日本政策金融公庫の経営環境変化資金融資利用者への利子補給 1,998千円(24件)						
活動指標	補助金交付件数	件	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等		実績値		200	100	27
成果指標	市内事業所数	件	目標値		24		
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	7,157	7,157		
成果指標	市内事業所の従業者数	人	目標値				
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	49,664	49,664		
成果指標	市内の製造品出荷額等	億円	目標値				
	算出根拠等	工業統計調査	実績値	1,158	1,059		
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・東日本大震災の影響を受けた市内事業者の経営の早期安定化のために創設した制度であり、平成23年度末をもって新規受付は終了したため特に課題はない。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・無し	
次年度の実施方針	○維持・改善	・東日本大震災の影響を受けた市内事業者の経営の早期安定化のために創設した制度であるため、平成23年度中に申請された融資案件における利子補給期間が満了するまで制度を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	1,998	23,000	2,388
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		291	3,354	619
	受益者	市内中小企業者	(B)	0	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	国制度融資利用事業者に対する助成	要求のポイント	震災対策支援の継続	事業実施の課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	------------------	---------	-----------	---------	------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	23,000	2,388	△ 20,612	2,400	2,400	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金							
一般財源	23,000	2,388	△ 20,612	2,400	2,400		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61170	伝統的工芸品産業振興貸付金	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公 約
	種 目			款	6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内 線	項	1	商工費	基本策 画	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	30,000 千円	
	2213	目		1	商工振興費	施策		1	経営体質の強化				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	飛騨一位一刀彫協同組合、飛騨春慶連合協同組合	どうしたいのか(意図)	・伝統的工芸品産業の組合による原材料の共同購入にかかる資金を貸し付けることにより、伝統的工芸品産業の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨一位一刀彫協同組合及び飛騨春慶連合協同組合が行う原材料の共同購入に対し無利子で貸付を実施
	対象者数	2 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・飛騨一位一刀彫協同組合 原材料共同購入 18,000千円 ・飛騨春慶連合協同組合 原材料共同購入 22,000千円					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	貸付件数	件	目標値	2	2	2	2
	算出根拠等		実績値	2	2		
活動指標	貸付額	千円	目標値	25,000	40,000	40,000	40,000
	算出根拠等	平成21年経済センサ基礎調査	実績値	25,000	40,000		
成果指標	伝統的工芸品産業団体の組合員数	人	達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
成果指標	漆器・漆器木地・一位一刀彫の製造品出荷額等	億円	実績値	79	76		
	算出根拠等	工業統計調査	目標値				
補足			達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値				
			実績値	12	9		
			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・伝統的工芸品産業は、販売高の減少や、職人の高齢化、後継者不足、原材料の不足等、さまざまな課題を抱えているため、「匠の認証制度」の実施をはじめとする産業の活性化策にさらに取り組んでいく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・原材料確保のための貸付を実施 ・伝統職人をテーマとした写真展を飛騨高山まちの博物館で開催し、そのすばらしさを市民、観光客にPR(5月23日～6月16日) ・一位一刀彫のPR/グッズの製作に向けて飛騨一位一刀彫協同組合と協議中 ・11月を伝統的工芸品月間として、伝統的工芸品展をはじめとした各種事業を開催するよう、伝統的産業団体と検討中
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
(担当課評価に同じ)	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	25,000	40,000	40,000	40,000	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12,500,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000	
	受益者	伝統的工芸品産業団体	(B)	2	2	2	2

5 予算編成(Action2)

事業内容	伝統的工芸品産業振興貸付金の貸付に要する経費	要求のポイント	伝統的工芸品産業を支援するための事業を継続	事業実施の課題	一位材は国内資源減少により入手が困難
------	------------------------	---------	-----------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財 源 内 訳	歳出(千円)	40,000	40,000		40,000	40,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	40,000	40,000		40,000	40,000		
	一般財源							

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61175	商工業振興関係事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	
	課			6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業		
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	目	1	商工振興費	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	千円
	目	1		商工振興費	施策		1	経営体質の強化					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたいのか(意図)	・地域経済を支える中小企業をはじめ、業界団体、地場産業等の振興を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・飛騨木工連合会の運営事業に対して補助金を交付 ・発明くふう展、子供クラフトコンクール事業等に対して補助金を交付 ・各種商工業振興施策を周知
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・飛騨木工連合会に対して運営費を助成 ・発明くふう展、子供クラフトコンクール事業等に対して経費を助成 ・融資制度をはじめとする各種商工業振興施策を周知						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	発明くふう展の開催回数	件	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
活動指標	商工業振興施策のPRチラシ発行回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果指標	発明くふう展への出展品数	点	目標値	80	80	80	80
			実績値	80	63		
算出根拠等			達成率(%)	100	79		
成果指標	発明くふう展への来場者数	人	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	2,602	2,987		
算出根拠等			達成率(%)	104	119		
成果指標	飛騨木工連合会の組合員数	社	目標値				
			実績値	26	25		
算出根拠等			達成率(%)				
補足	・融資制度の周知については、金融機関との連携により市内事業所への浸透を図っているため、県内の自治体における平成22年度の県信用保証付小口融資の実績は、最も融資件数、融資額が多い。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・無し
-----------------	-----

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・無し	
次年度の実施方針	○維持・改善	・木工産業の活性化は、市内経済の活性化に大きく影響しており、次年度以降も事業を継続する。 ・発明くふう展は、青少年の創造性や発想力を養う機会としての重要性が高いため、次年度以降も事業を継続する。 ・市の各種商工業振興施策を広く周知することは重要であり、次年度以降も事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	・景気対策、産業振興について、有識者等の意見も聞きながら、新たな取り組みや既存事業の見直しを検討する必要がある。
拡大		
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,547	1,515	1,790	4,844
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	226	221	261	706
	受益者	市内中小企業者	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	商工業振興に係る一般行政事務費 商工関連団体に対する助成	要求のポイント	景気対策事務補助員の設置による増 外国人旅行者等消費拡大支援事業補助金の新設	事業実施の課題	関連団体等と連携した商工業振興施策の展開
------	---------------------------------	---------	---	---------	----------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,790	4,844	3,054	1,490	1,490	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	1,790	4,844	3,054	1,490	1,490		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61178	企業誘致対策事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	産業振興計画	市長公約	2・1(商工業・地場産業をさらに発展させます。 商店街の活性化を促進させるため、商店街の自主活動を支援するとともに、商店街再構築整備助成を充実させます。
	課			6	商工費		分野	6	工業		実施計画事業		
担当課	企業誘致推進室		予算	内線	2798	目	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額	250,000	千円	
	項	1		商工費	施策		2	あらたな工業の創出					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、特に若年層及びUIJターン就職希望者	どうしたいのか(意図)	・企業における雇用の創出及び拡大により、地域経済の活性化と市民生活の向上を図る	概要	事業の実手法(手段)	・企業の立地環境(立地適地及び優遇制度等)を整備し、企業訪問の実施や人的ネットワークの活用により、誘致活動を展開
	対象者数	93,312 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・企業立地促進制度補助金 ・雇用促進助成金 (10件 284人) ・事業所等設置助成金 (6件) ・事業所等新設助成金 (1件) ・事業所等増上助成金 (2件)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	企業訪問・立地相談	件	目標値	200	200	200	200
			実績値	269	335		
成果指標	助成制度に基づく立地	件	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	7		
成果指標	雇用促進助成金対象従業員数	人	目標値	200	250	300	350
			実績値	221	284		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	111	114		
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値				
			実績値				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・新たな事業所の誘致や既存事業者の雇用拡大に対するニーズは高い。 ・また、企業誘致は雇用者の増加による市内定住人口の増加にも効果があるため事業を推進する必要性は高いと考えるが、一方で事業費の増大を招いていることから、費用対効果を検証する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・助成制度を有効に利用し市内企業活動の活性化を図るため、積極的に市内企業訪問を行い、情報を収集する。	
担当課評価	○維持・改善	・新たな企業立地に向けた企業情報収集と企業ニーズの把握及び優遇制度のPRに努める。 ・雇用効果の大きい製造業を中心に誘致活動を行うとともに、市内企業の業務拡張を行う増設についても推進していく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・新たな展開について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	214,887	187,651	201,706	220,145
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,290	2,011	2,162	2,371
	受益者	市民、特に若年層及びUIJターン就職希望者 (B)	93,822	93,312	93,300	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	企業誘致による雇用創出、地域経済活性化に資する事業 ・企業立地に対する支援 ・企業訪問、誘致活動に要する経費 ・各種印刷物の作成	要求のポイント	企業誘致を推進するために必要な経費の計上 ・新たな企業立地に向けた企業情報収集と優遇制度のPR ・清見造成地の基盤整備に伴う簡易水道工事負担金 ・地元企業への立地支援による新たな雇用創出	事業実施の課題	市内への企業立地に向け、継続的に企業からの情報収集や優遇制度のPRに努める必要がある。 ・積極的な情報発信による立地企業の獲得 ・他都市と連携した誘致活動の展開
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	201,706	220,145	18,439	219,566	219,566	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	201,706	220,145	18,439	219,566	219,566		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61180	道の駅管理事業	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	2	商工業・地場産業をさらに発展させます。 ・将来の地域経済を支える持続的な振興を図るため、高速交通網や広大な地域の特性を活かした新しい産業育成に取り組み、新規常雇者の増加を目指します。
	課			6	商工費		分野	5	商業		実施計画事業			
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	目	基本施策	1	地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	H25実施計画額	58,000	千円		
	目	1		商工振興費	施策		2	にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	「道の駅」及び「道の駅付帯施設」の管理運営主体	どうしたいのか(意図)	・高山市の恵まれた自然、歴史、文化資源を生かし、都市との交流及び観光客の誘致並びに地域特産品の生産・販売により、地域の活性化を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	・「道の駅」機能による地域情報の発信と、「付帯施設」における特産物、地元野菜の販売等を実施
	対象者数	8人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・道の駅 8駅を施設管理委託 ・道の駅付帯施設 7施設を指定管理委託						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	施設管理数	施設	目標値	8	8	8	8
成果指標	施設利用者数	人	目標値	1,022,856	1,022,856	1,022,856	1,022,856
	算出根拠等	平成19年度利用者数	実績値	942,241	885,259		
成果面	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
			目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、今後、計画的な対応が必要となっている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・施設の老朽化の現状を把握している。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設はなく、今後も継続していく必要があるが、施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、今後、計画的な対応が必要となる。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・道の駅施設については、利用率、採算性及び施設の老朽化などを総合的に勘案し、今後のあり方について、検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	45,686	45,929	46,413	53,315
受益者	施設利用者数	(B)	942,241	885,259	1,000,000	1,000,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	48	52	46	53

5 予算編成(Action2)

事業内容	道の駅の管理運営に要する経費	要求のポイント	修繕料、備品購入費の増	事業実施の課題	地域活性化の拠点施設としての利活用の促進 施設の計画的な維持修繕
------	----------------	---------	-------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	46,413	53,315	6,902	49,590	49,590	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	25,000	24,992	△8	25,000	25,000		
一般財源	21,413	28,323	6,910	24,590	24,590		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61183	ウッドフォーラム飛騨管理事業費	会計	1	一般会計	政策	4	「にぎわい」のあるまちづくりを目指して	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます。 ・世界に誇れる技術やデザイン性を有した地場産業を、売り上手な産業に育てるためマーケティングの強化支援やモノづくりの芽を支援し、市長が先頭に立った積極的なセールスを行ないます
			款	6	商工費	分野	6	工業	実施計画事業			
担当課		商工観光部 商工課	項	1	商工費	基本施策	1	時代の流れに対応した活力ある工業の振興を図る	H25実施計画額			
			目	1	商工振興費	施策	1	経営体質の強化		千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ウッドフォーラム飛騨管理運営主体	どうしたいのか(意図)	・清見地域を中心に、木材の普及促進と地域の活性化を図る	概要	事業の実手法(手段)	・清見地域で活動しているクラフト作家の作品の常設展示即売や、地域の集会所としての貸館、また、地場野菜即売所、レストランへの施設の貸し出し
	対象者数	1 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・ウッドフォーラム飛騨 指定管理委託						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	施設管理数	施設	目標値	1	1	1	1
	実績値		1	1			
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果指標	施設利用者数	人	目標値	34,155	34,155	34,155	34,155
	実績値		42,732	32,292			
	算出根拠等	平成19年度利用者数	達成率(%)	125	95		
成果面			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・施設の老朽化等により、年々修繕費用が増加している。大規模なものが多く、対応しきれていない現状のため、今後、計画的な対応が必要となっている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・施設の老朽化の現状の把握を行っている。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・清見地域では、既存の木工業者に加え、新鋭のクラフト作家が起業しており、清見地区の特色、魅力となっていることから、当該施設の維持は必要であり、事業を継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,195	8,556	8,200	8,892
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	192	265	205	222
	受益者 施設利用者数	(B)	42,732	32,292	40,000	40,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	ウッドフォーラム飛騨の管理運営に要する経費	要求のポイント	施設修繕費の増	事業実施の課題	地域活性化の拠点施設としての利活用の促進 施設の計画な維持修繕
------	-----------------------	---------	---------	---------	------------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	8,200	8,892	692	8,300	8,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	125	125		125	125		
	一般財源	8,075	8,767	692	8,175	8,175		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61200	シルバー人材センター育成事業費	内線	2213	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公 約
	款					6	商工費	分野		7	労働	実施計画事業		シルバー人材センター助成事業	
担当課	商工観光部 商工課					項	1	商工費		基本施策	1	誰もが安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	20,000 千円	
	目	2				労政振興費	施策	1		労働環境の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高齢者(60歳以上の市民)	どうしたい のか (意図)	・高齢者に就業の場を提供することで、生きがいや働きがい、社会参加による充実感を与え、活力ある高齢者社会の実現に取り組んでいるシルバー人材センターを支援する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・シルバー人材センター運営事業等に対して補助金を交付
	対象者数	33,379 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・シルバー人材センターの運営事業等を助成					
活動指標	活動団体数	件	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等		目標値	1	1	1	1
成果指標	シルバー人材センター会員数	人	実績値	1	1		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果指標	シルバー人材センター受注件数	件	目標値				
	算出根拠等		実績値	5,298	5,833		
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・国の事業仕分けにより国補助金が削減されつつあり、組織体制や運営方法の検討を継続して進めていく必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・国の補助金の動向を注視している。	
次年度の実 施方針	○維持・改善	・活力ある高齢者社会の実現に向けて、シルバー人材センターへの支援は不可欠であるため次年度以降も事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評 価	○維持・改善	・シルバー人材センターの運営については、今後、団塊の世代の流入による会員数の増加が見込まれることから、民間部門における受注拡大を図る取り組みを促していく必要がある。併せて、自主的な運営が将来的に行えるよう、組織改革を求めていく必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	22,215	20,100	20,100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	683	609	618
	受益者	60歳以上の市民	(B)	32,503	33,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	シルバー人材センターの運営に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	事業仕分けに伴う国補助金の減 組織体制や運営方法の見直し
------	---------------------	-------------	---------------------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	20,100	20,100		20,100	20,100	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	20,100	20,100		20,100	20,100		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61207	中高齢者等雇用対策事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	種別			6	商工費		分野	7	労働		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	基本施策	1	誰もが安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	5,500 千円		
	目	2		労政振興費	1		労働環境の整備					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	中高年齢者(45歳以上)	どうしたいのか(意図)	・中高年齢者の雇用に結びつく施策の実施により、安心して働ける環境整備を図る。	概要	事業の実手法(手段)	・就職を希望する中高年齢者を含む一般の方(障がい者含む)を対象とした、雇用を促進するための就職相談会及びパート面接会を開催
	対象者数	49,897 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・就職面接会を開催(平成23年11月) ・パート面接会を開催(平成23年9月、平成24年2月)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	就職面接会、パート面接会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3
		実績値	3	3				
	算出根拠等	3回/年(アクションプランの目標値)	達成率(%)	100	100			
	成果指標	面接会等の参加者数	人	目標値	550	550	550	550
		実績値	477	470				
	算出根拠等	550人/年(アクションプランの目標値)	達成率(%)	87	85			
	成果指標	面接会等による就職者数	人	目標値	50	50	50	50
		実績値		48				
	算出根拠等	50人/年(アクションプランの目標値)	達成率(%)	0	96			
	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	・平成23年10月に締結した「高山市と岐阜労働局による職業相談・紹介等の一体的実施に関する協定」の1事業として位置づけし、面接会の充実を図った。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・就職者を増やすためには、面接会への参加者の増加を図る必要があり、広報等によって市民等への周知をさらに図る必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・平成23年10月に「高山市と岐阜労働局による職業相談・紹介等の一体的実施に関する協定」を締結し、その1事業としてパート面接会の位置づけを行い、ハローワークと連携し面接会の充実を引き続き図っている。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・市民が企業から情報を直接得られる機会を提供することは重要であり、事業の周知を行い利用者の増加を図りながら、次年度以降も事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	69	114	210	274
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	2	4	5
	受益者	中高年齢者(45歳以上)	(B)	49,940	49,900	49,897

5 予算編成(Action2)

事業内容	就職相談会の開催に要する経費	要求のポイント	事業実施の課題
			依然として厳しい市内雇用情勢への対応

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	210	274	64	210	210	・精算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	210	274	64	210	210		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61210	UIJターン対策事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	課			6	商工費		分野	7	労働		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	目	基本施策	1	誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	33,000 千円	
	項	1		商工費	施策		2	勤労者支援の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	UIJターン就職者(H23年度末の補助金交付者数)	どうしたいのか(意図)	・若者の市内への定住を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・UIJターン就職をした若者(35歳未満)に対し、賃貸住宅の家賃の一部を補助
	対象者数	221 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・若者定住促進事業補助金 221件 ・過去5年間の補助金交付者の市内定住率を調査							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
		新規補助金交付者数	人	目標値	80	80	80	80
	算出根拠等		実績値	64	97			
	達成率(%)		80	121				
	成果指標	過去5年間の新規補助金交付者の市内定住率	%	目標値		80	80	80
		算出根拠等	平成24年1月末現在	実績値		67		
	達成率(%)			84				
	目標値							
	実績値							
	達成率(%)							
	目標値							
	実績値							
	達成率(%)							
	目標値							
	実績値							
	達成率(%)							
補足	・平成23年度に過去5年間の補助金交付者の市内定住率を調査							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域の活性化に向けて若者の定住促進をさらに図る必要がある。
-----------------	--------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・就職ガイダンス等において、若者に制度の周知を図っている。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・若者の定住促進は地域の活性化のためにも重要な施策であり、次年度以降も事業を継続する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ふるさと暮らしやまちなか居住等の類似制度が開始されていることなどから、当該制度による市内への定住率等も踏まえて事業効果の検証を行い、廃止も含めた見直しを検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	26,056	29,513	30,450	50,726
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	134,309	133,543	140,972	152,789
	受益者	UIJターン就職者	(B)	194	221	216

5 予算編成(Action2)

事業内容	UIJターン就職者の家賃に対する助成	要求のポイント	制度利用件数の増	事業実施の課題	若者の地元への定住促進 若者の働く場の確保 地元出身大学生等に対するUターンを促すための各種情報提供
------	--------------------	---------	----------	---------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	30,450	50,726	20,276	40,450	40,450	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他	510	270	△ 240	270	270		
一般財源	29,940	50,456	20,516	40,180	40,180		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61211	学卒者等支援事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	課			6	商工費		分野	7	労働		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内線	2213	目	1	商工費	基本施策	1	誰もが安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	5,500 千円
	2	労政振興費		1		労働環境の整備						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高等学校在学中の学生	どうしたいのか(意図)	高等学校に在学中の学生に対し、就職や働くことについての動機付け、今後の目標設定、就職に関する情報提供などを目的としたガイダンスを開催し、職業観の育成及び地元就職の促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・就職や働くことについての動機付け、今後の目標設定、就職に関する情報提供などを目的とした高校生就職ガイダンスを開催
	対象者数	2,743 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・就職ガイダンスの開催(平成24年3月)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	開催回数	回	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1				
	算出根拠等	就職ガイダンスの回数		達成率(%)	100	100		
		参加者数	人	目標値	100	100	100	100
	成果指標	参加者数	人	実績値	153	157		
		算出根拠等	ガイダンスの参加者数	達成率(%)	153	157		
	成果指標	高校生の県内への就職内定者数	人	目標値	250	250	250	250
		実績値	245	261				
	算出根拠等	公共職業安定所による確認数		達成率(%)	98	104		
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足	・就職活動を控えた高校2年生の冬に実施しており、多くの参加希望がある。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・より就職に結びつけるため、高校生が当事業で学んだことを活用する機会が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・高山市雇用促進協会と連携し、引き続き高校生の職業観を養う取り組みを推進するとともに、地元企業への知識を深め、地元企業への就職を促進する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・高校生の就職活動の上で必要なガイダンスであり、次年度以降も事業を継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	842	875	930	973
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	311	321	339	347
	受益者	高等学校在学中の学生	(B)	2,705	2,728	2,743

5 予算編成(Action2)

事業内容	高校生就職ガイダンスの開催に要する経費	要求のポイント	事業実施の課題	高校生の職業観の育成と地元就職の促進
------	---------------------	---------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	930	973	43	930	930	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	930	973	43	930	930		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61217	中小企業事業所内保育施設 整備事業補助金	予 算	会計	1	一般会計	総合 計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長 公約
	種別			款	6	商工費		分野	7	労働		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内線	項	1	商工費	基本 施策	1	誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	20,000 千円		
				2213	目	2		労政振興費	2		勤労者支援の充実		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内中小企業者	どうしたい のか (意図)	・事業所内託児施設の整備運営を支援することにより、子育て世代が働きやすい職場環境づくりを推進する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・中小企業が事業所内に設置する事業所内保育施設の運営費(人件費)に対し、補助率1/2、限度額5,000千円を補助 ・事業所内保育施設の整備事業に対し、5,000千円を限度額として補助
	対象者数	6,857 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・中小企業事業所内保育施設運営費補助 2件						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	補助金交付事業所数	件	目標値	4	4	4	4
成果 指標	算出根拠等		実績値	3	2		
	補助金交付事業所における延べ保育児童数	人	達成率(%)	75	50		
成果 面	算出根拠等		目標値	200	200	200	200
	算出根拠等		実績値	195	161		
成果 面	算出根拠等		達成率(%)	98	81		
	算出根拠等		目標値				
成果 面	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補 足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
補 足	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・事業所内保育施設の取り組みの増加を図るため、より多くの事業者を利用されるよう、広報等で制度の周知を図る必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・労働機関紙等で市内事業所に制度のPR、取り組みの啓発を行う。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・子育て世代が働きやすい環境づくりを推進するため、次年度以降も事業を継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・企業における子育て支援への意識醸成を図りながら事業を実施していく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,919	5,714	16,000	16,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,592	833	2,333	2,333
	受益者	市内中小企業者	(B)	6,857	6,857	6,857

5 予算編成(Action2)

事業内容	中小企業事業所内託児施設の整備・運営に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	子育て世代が働きやすい環境づくりの推進
------	--------------------------	-------------	---------------------	---------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	16,000	16,000		15,000	15,000	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
一般財源	16,000	16,000		15,000	15,000		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61220	勤労者生活安定資金融資預託金	内線	2213	予 算	会計	1	一般会計	総合計 画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公 約
	款					6	商工費	分野		7	労働	実施計画事業		勤労者生活安定資金融資預託事業、勤労者融資等保証料等補助事業	
担当課	商工観光部 商工課					項	1	商工費		基本施策	1	誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	160,800 千円	
						目	2	労政振興費		施策	2	勤労者支援の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	勤労者(ハローワーク高山管内)	どうしたい のか (意図)	・勤労者に対し生活安定資金の融資を行うとともに利子補給を行い、勤労者の生活の安定を図り、もって住民福祉の向上を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者生活安定資金融資制度の実施 ・保証料補給(支払った保証料の全額) ・利子補給(借入れの日から3年以内に支払った利息)
	対象者数	36,966 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者生活安定資金融資 融資総額(件数) 128,070千円(105件) 保証料補給 2,745千円 利子補給 8,225千円 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	融資件数	件	目標値	180	120	120	120
成果指標	算出根拠等		実績値	153	105		
	市内の乗用車保有台数	台	達成率(%)	85	88		
成果面	算出根拠等	飛騨車検場の統計数	目標値				
			実績値	51,965	52,012		
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・融資件数が減少している。
---------------------	---------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・より多くの勤労者に利用されるよう、広報等で制度の周知をさらに図る。
次年度の 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ・利用件数は減少しつつあるが、景気の低迷は続いており、更なる制度の周知を図りながら、次年度以降も事業を継続する。
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	218,196	238,969	243,000	224,077
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,027	6,482	6,574	5,968
	受益者	勤労者(ハローワーク高山管内)	(B)	36,204	36,868	36,966

5 予算編成(Action2)

事業内容	市制度融資に要する経費 利子・保証料に対する助成	要求の ポイント	融資利用件数の減	事業 実施の 課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	-----------------------------	-------------	----------	-----------------	------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財 源 内 訳	歳出(千円)	243,000	224,077	△ 18,923	241,800	241,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	230,000	213,000	△ 17,000	230,000	230,000		
	一般財源	13,000	11,077	△ 1,923	11,800	11,800		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61225	勤労者住宅資金融資預託金	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	課			6	商工費		分野	7	労働		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		内線	2213	目	1	商工費	基本施策	1	誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	300,000 千円
	2	労政振興費		2		勤労者支援の充実						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	勤労者(ハローワーク高山管内)	どうしたいのか(意図)	・勤労者に対し住宅資金の融資を行うとともに利子補給を行い、勤労者の生活の安定を図り、もって住民福祉の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・勤労者住宅資金融資制度の実施 ・利子補給(借入れの日から3年以内に支払った利息)
	対象者数	36,966 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・勤労者住宅資金融資 融資総額(件数) 64,600千円(6件) 利子補給 11,942千円						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	融資件数	件	目標値	18	18	18	18
成果指標	算出根拠等		実績値	17	6		
	達成率(%)		達成率(%)	94	33		
成果指標	市内の住宅着工数	件	目標値				
	算出根拠等	岐阜県建築着工統計データ	実績値	244	256		
成果指標	達成率(%)		目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果指標	達成率(%)		目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果指標	達成率(%)		目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果指標	達成率(%)		目標値				
	算出根拠等		実績値				
補足	達成率(%)		目標値				
	算出根拠等		実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・融資件数が減少している。
-----------------	---------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・より多くの勤労者に利用されるよう、広報等で制度の周知をさらに図る。
担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・利用件数は減少しつつあるが、景気の低迷は続いており、さらなる制度の周知を図りながら、次年度以降も事業を継続する。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	393,351	420,942	492,000	386,204
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10,865	11,418	13,310	10,286
	受益者	勤労者(ハローワーク高山管内)	(B)	36,204	36,868	36,966

5 予算編成(Action2)

事業内容	市制度融資に要する経費 利子に対する助成	要求のポイント	融資利用件数の減	事業実施の課題	依然として厳しい市内景況への対応
------	-------------------------	---------	----------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		492,000	386,204	△ 105,796	426,300	426,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他	480,000	381,000	△ 99,000	420,000	420,000		
一般財源		12,000	5,204	△ 6,796	6,300	6,300		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	61230	労政振興関係事務費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約
	種別			6	商工費		分野	7	労働		実施計画事業	
担当課	商工観光部 商工課		予算	内線	2213	基本施策	1	誰もが能力を活かし安心して働くことのできる環境を整備する	H25実施計画額	5,500 千円		
	目	2		労政振興費	施策		1	労働環境の整備				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	勤労者(ハローワーク高山管内)	どうしたいのか(意図)	・労働全般にわたる情報の収集や提供を行い、雇用の安定と勤労者の福祉向上、住民福祉の進展を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・無料職業紹介所の開設による相談事業、各種労働情報の収集、労働情報紙発行等による情報提供等の実施
	対象者数	36,966 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業相談所の相談件数 472件 無料職業相談所の就職件数 35件 労働機関紙の発行件数 6回(市内約1,100事業所に配布) 						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	無料職業紹介所の相談件数	件	目標値	300	300	300	300
活動指標	労働機関紙の発行件数	件	実績値	296	472		
	算出根拠等		達成率(%)	99	157		
成果指標	無料職業紹介所からの就職件数	件	目標値	6	6	6	6
	算出根拠等		実績値	6	6		
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値	40	40	40	40
成果指標	算出根拠等		実績値	42	35		
	算出根拠等		達成率(%)	105	88		
成果指標	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
成果指標	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・「高山市と岐阜労働局による職業相談・紹介等の一体的実施に関する協定」により、平成24年1月から市内にワークサロンたかやまを設置し、事業の強化を図った。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所は、ハローワークやワークサロンたかやまによる支援だけでは就職できない方々に対し、今後も手厚くフォローする必要がある。 労働機関紙は、読者である市内事業主が必要とする情報提供が的確に行えているか検証が必要である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 無料職業紹介所は、就職困難者の就職に向けて、さらに市福祉部局やワークサロンたかやまとの連携を強化していく。 労働機関紙は、市内事業主のニーズをつかむためアンケートを実施し、その結果を踏まえた記事を掲載する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の安定のため、次年度以降も事業を継続する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,007	2,291	2,430	2,480
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	28	62	66	67
	受益者	勤労者(ハローワーク高山管内)	(B)	36,204	36,868	36,966

5 予算編成(Action2)

事業内容	労政振興に係る一般行政事務費 雇用・労働関連団体に対する助成 地元出身大学生等に対する各種情報提供等Uターン促進事業の実施	要求のポイント	地元出身大学生等に対して市内企業の就職情報や生活情報を定期的に提供し、市内へのUターン者の増加を目指すため、地元出身大学生等Uターン促進事業を新たに実施	事業実施の課題	若者の地元への定着促進 若者の働く場の確保 地元出身大学生等に対するUターンを促すための各種情報提供
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	2,430	2,480	50	2,260	2,260	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	2,430	2,480	50	2,260	2,260		